

・福女にススメル「福女の交流会」開催事業
・福井市女性活躍促進協議会【福井市】

総事業費

224 千円

交付金額

112 千円

地域の実情と課題

女性の就業率や夫婦共働き率が高く、女性の正規雇用割合も高い一方で、女性の管理職率は低い。今後、更に女性の活躍を進めていくためには、女性の管理職率を向上させ、女性が働きやすく、活躍できる職場環境を整備していく必要がある。

事業の特徴

福井で働く女性を対象に、管理職やリーダーとして活躍する女性の考え方の紹介や福井での働き方等について意見交換する交流会を開催し、キャリアアップや管理職への意欲向上を図った。
また、交流会で出た意見等を市内企業に向けて発信することで、企業における女性の働きやすい環境整備を図った。

事業の効果

女性管理職の割合
【目標値:18%(令和8年度) → 達成値:11.2%】

交流会を通し、キャリアアップに向けて意欲が高まった。
(効果検証の概要)
参加者を対象としたアンケート調査:32名

目的・目標

女性管理職の割合
【目標値:18%(令和8年度) → 達成値:11.2%】

連携団体

福井市女性活躍推進協議会に参加する企業

ロールモデルとしての交流会への参加や、企業への周知協力を依頼し、幅広い企業の参加を図るとともに、事業の効果的な実施に努めた。

今後の課題

企業における女性活躍を進めるために、男女ともに働きやすい環境整備を推進するとともに、女性自身のキャリアアップや管理職への意欲を向上させる必要がある。

事業の概要

女性編

《福女にススメル「福女の交流会」》

福井で働く女性が、それぞれのテーマごとに、福井での働き方等について意見交換を行い、自分たちの理想とする働き方を考える交流会を3回開催し、キャリアアップや管理職への意欲向上を図った。

事業概要

第1弾 「管理職・リーダーであっても、家ではママです」	
開催日	7月21日（木）
会場	アオッサ6階 601研修室
参加者数	18名
ファシリテーター	藤田 由美子 氏（オフィス・マインドルージュ）
ロールモデル	藪 恵 氏（アクサ損害保険株式会社） 笠原 めぐみ 氏（清川メッキ工業株式会社） 牧野 奈美 氏（福井キャノン事務機株式会社）
参加者からの提案	<ul style="list-style-type: none">・ ITを活用して、いつでもどこでも働ける環境にし、仕事に見える化。・ 時間休やフレックス、育児や介護に関する特別休暇制度を整え、活用しやすい環境に。・ 「この人しかできない」仕事を作らず、組織やチームで仕事ができるように。



事業の概要

女性編

《福女にススメル「福女の交流会」》

福井で働く女性が、それぞれのテーマごとに、福井での働き方等について意見交換を行い、自分たちの理想とする働き方を考える交流会を3回開催し、キャリアアップや管理職への意欲向上を図った。

事業概要

第2弾 「パパの育休取得で社員も企業もHappyに」	
開催日	8月24日（水）
会場	アオッサ6階 601研修室
参加者数	31名
ファシリテーター	藤田 由美子 氏（オフィス・マインドルージュ）
ロールモデル	知場 康德 氏（社会福祉法人清水新生会） 松永 侑也 氏（株式会社タッセイ） 高田 恭宏 氏（福井キャノンマテリアル株式会社）
参加者からの提案	<ul style="list-style-type: none">・産後パパ育休制度によって、10月から2回に分けて取得可能になったからこそ、1ヶ月くらい取得できると良い。・育休取得の有無に関わらず、できるだけ早く直属の上司に報告。会社側は様々な制度を本人に周知でき、本人も妻の妊娠時期から働き方を見直し、場合によっては、1人目の子にかかる休暇等を取得することが可能に。



事業の概要

女性編

《福女にススメル「福女の交流会」》

福井で働く女性が、それぞれのテーマごとに、福井での働き方等について意見交換を行い、自分たちの理想とする働き方を考える交流会を3回開催し、キャリアアップや管理職への意欲向上を図った。

事業概要

第3弾 「管理職・リーダーになるってどんな感じ？」

開催日	11月8日(火)
会場	アオッサ6階 601研修室
参加者数	17名
ファシリテーター	藤田 由美子 氏 (オフィス・マインドルージュ)
ロールモデル	川勝 美穂 氏 (株式会社江守情報) 萩 桂子 氏 (社会福祉法人福泉会) 島田 留奈 氏 (ユニフォームネクスト株式会社)
参加者からの提案	<ul style="list-style-type: none">・制度や仕組みは、「ある」だけではなく、活用されるように。・一人の責任ではなく、チームで相談し、意見を言い合える関係が大事。・家事や育児は女性が…というイメージはあるが、家族で分担し、働く女性を応援してほしい。

